

予防接種 はもうお済みですか？



●子どもの予防接種

☑ スポーツ健康課 ☎ 内線308

予防接種の種類	対象となる年齢
麻疹風しん	【第1期】1歳～2歳になる前日まで 【第2期】年長児(小学校入学前の1年間)
二種混合	11歳～13歳になる前日まで
日本脳炎	【第1期】6か月～7歳6か月になる前日まで 【第2期】9歳～13歳になる前日まで ※特例として平成7年4月2日～平成19年4月1日までの間に生まれた方で、20歳未満であれば接種できます。特に平成10年4月2日～平成11年4月1日までに生まれた方は接種しているか確認してください。
B型肝炎	平成28年4月1日生まれ以降の方で1歳になる前日まで ※接種回数は3回です。4～6月生まれの方は接種期限が迫っていますので、お早めに。

医療機関：月京クリニック、東海大学大磯病院、ひよこクリニック(小学校高学年以上の対応可能：大谷クリニック、箕島医院)

※子宮頸がんワクチンについては、現在積極的勧奨はしておりません。

※町外医療機関で接種を希望される場合は事前にご連絡ください。

●大人の予防接種

予防接種の種類	対象
大人の風しん	今後妊娠を予定または希望している女性と、妊娠している女性のパートナーが対象となります。春先から風しんが流行する季節になりますので、早めの接種をお勧めします。

医療機関：大磯ハートクリニック、大谷クリニック、月京クリニック、グリーン内科クリニック、東海大学大磯病院、ひよこクリニック、箕島医院、森田内科医院



☑ 町民課 ☎ 内線247

医療費と自己負担額を削減するために、ジェネリック医薬品の普及にご協力ください。

ジェネリック医薬品は先発医薬品と有効成分は同一であっても、剤型・添加物等は様々なため、効果・副作用に差異が生じることがあります。服用についてもご相談ください。

町国民健康保険では、ジェネリック医薬品の希望を医師や薬剤師に伝えるため、ジェネリック医薬品希望シールを保険証に貼っていただくように窓口で配布しています。

「ジェネリック医薬品」を利用しませんか

医師は、子育て中はとても重要です。

早めに小児科を受診しましょう。普段から相談できるかかりつけ

医師は、子育て中はとても重要です。

早くに小児科を受診しましょう。

普段から相談できるかかりつけ

医師は、子育て中はとても重要です。

早くに小児科を受診しましょう。

普段から相談できるかかりつけ

医師は、子育て中はとても重要です。

早くに小児科を受診しましょう。

普段から相談できるかかりつけ

医師は、子育て中はとても重要です。

早くに小児科を受診しましょう。

普段から相談できるかかりつけ

医師は、子育て中はとても重要です。

早くに小児科を受診しましょう。

普段から相談できるかかりつけ

医師は、子育て中はとても重要です。

早くに小児科を受診しましょう。

普段から相談できるかかりつけ

「赤ちゃんが泣いて困ったら」
「こどもは 保健師です」

赤ちゃんに恵まれ育てること
は、幸せで素晴らしいことです。
しかし、大変さもあります。例
えば赤ちゃんが泣いている場合、
特に理由もないのに泣くことも
あります。理由がないのに泣く
のは生後2か月がピークで、そ
の後成長とともに収まってくる
す。赤ちゃんが生まれる前に、
ご近所の方に「赤ちゃんが生ま
れること、泣き声が聞こえるこ
とがあること」を伝えておくと
良いかもしれません。

赤ちゃんが泣いたときの対処法

まず、赤ちゃんが泣きが
つて
いると思うものを確かめてみま
しょう。ミルクをあげる、おむ
つを替える、抱っこをする、赤
ちゃんが暑がっていないかなど
思いつくものを確かめてみま
しょう。

次に、赤ちゃんがお腹の中
に
いたときの状態を思い出させて
あげましょう。例えばおくるみ
で包んであげる、「シー」とい
う音を聞かせる、ビニールをく
しゃくしゃくさせるなどです。

もし、高熱など心配があれば、
早めに小児科を受診しまし
ょう。普段から相談できるか
かりつけ医師は、子育て中
はとても重要です。

赤ちゃんが泣き止まないでイ
ライしたら
何をやっても泣き止まない
ときは、誰でもイライラしま
す。そんなときは、赤ちゃん
を安全な場所に寝かせて、一
息つきましよう。お茶を飲ん
だり好きな音楽を聴いて気分
転換したり、赤ちゃんを他
の人に見てもらったり、友
達や実家に電話で話を聞
いてもらうのもよいです。

赤ちゃんを激しく揺さぶらないで

無理に泣き止ませようと激
しく揺さぶると、脳に衝撃が
加わり重い障害が残ります
(乳幼児揺さぶられ症候群)。一
瞬イライラして赤ちゃんを
揺さぶると、一生赤ちゃん
を不幸にしてしまいます。
また、泣き声が周囲に聞
こえないようにと赤ちゃん
の口をふさがないでください。
ひとり抱え込まないで、み
んなで赤ちゃんを育てま
しょう。困ったことがあ
つたら、町の保健セン
ターや子育て支援総合
センター、平塚児童相談
所などに、気軽に相談
してください。

困ったことがあつたら、町の保健
センターや子育て支援総合
センター、平塚児童相談所などに、
気軽に相談してください。

スポーツ健康課 市野
☎ 内線309